

都知事杯 OpenData Hackathon

都知事杯オープンデータ・ハッカソン2022
募集要項

【1. 事業目的】

都は、行政が保有するデータを積極的に公開し、シビックテックや民間企業等が新たなサービスを創出することで、都民の利便性向上に繋げていく取組を進めています。この取組を加速するため、この度、都のオープンデータを活用して行政課題の解決に向けたデジタルサービスの提案を行う「都知事杯オープンデータ・ハッカソン」を実施いたします。多様化する行政課題の解決に向け、シビックテックの力も取り込み、都民のQOL向上につながる新たなサービスを創出する官民協働スタイルを構築することを目指します。

※ハッカソン：エンジニアやプランナーがそれぞれの技術やアイデアを持ち寄り、短期間に集中してアプリケーションなどを開発し、成果を競う開発イベントです。

【2. 応募対象者】

東京都のオープンデータを活用したサービス開発を目指す個人又は団体

【3. 応募条件】

- (1) 東京都が抱える行政課題の解決に資するサービス案を検討予定または検討中であること
- (2) 東京都のオープンデータを活用予定であること

【4. 募集期間】

令和4年6月1日（水）～8月5日（金）

5. 応募方法

下記、応募フォームに必要事項を記入してください。

(1) 都知事杯オープンデータ・ハッカソン 応募フォーム

URL : <https://odhackathon.metro.tokyo.lg.jp/entry>

(2) 必要事項

- ア 代表者氏名 (必須)
- イ 代表者連絡用メールアドレス、電話番号 (必須)
- ウ チーム名 (チームで申込みの場合) (任意)
- エ 参加人数 (必須)
- オ 取り組みたい都の行政課題及びサービス案の概要 (400文字以内) (必須)
- カ 活用したい (または活用予定の) オープンデータの分野
(生活、まちづくり分野 等) (必須)
- キ 活用予定の具体的オープンデータがある場合は、そのリンク先 (任意)
- ク チームビルディングの希望有無 (必須)
- ケ オンライン・オフライン参加希望 (必須)

※同一主体からの複数の応募は可能ですが、サービス案1件ごとに応募の申請をお願いします。

(3) 結果通知のご連絡

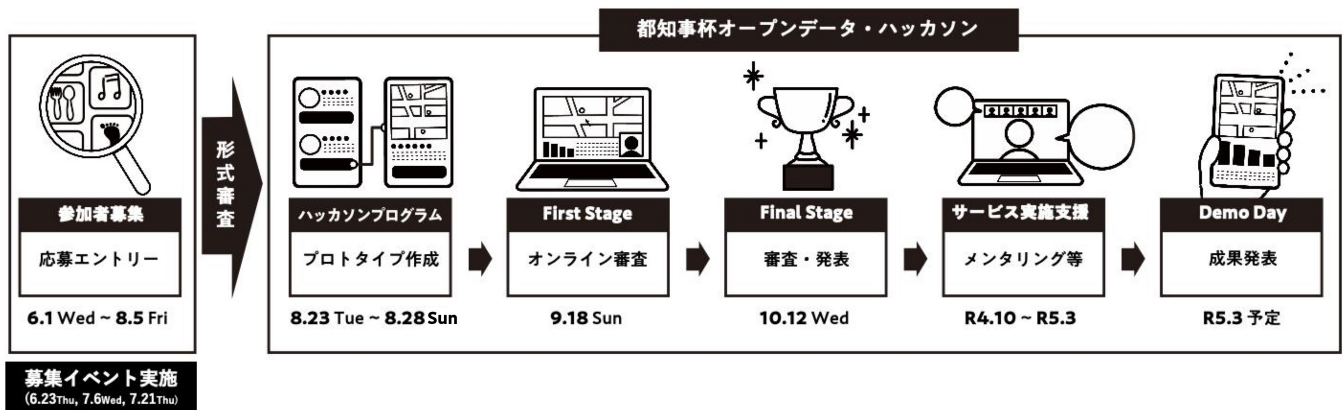
提出いただいた応募内容について、形式審査を行い、令和4年8月12日 (金) までに応募者全員に結果をご連絡いたします。

6. 都知事杯オープンデータ・ハッカソン2022 プログラムの概要

(1) 概要・特色

- ア アイデアを活用したプロトタイプを作成を東京都がサポート
- イ プロトタイプの内容を「First Stage」でプレゼンいただき、「Final Stage」に進出する優秀な作品を10者選定
- ウ 「Final Stage」に進出した10者の中から、最優秀の作品に対して都知事杯を贈呈
- エ 「Final Stage」に進出した10者に対して、年度末までデザインや使い勝手の良い機能のアドバイス、プログラミングの構築等、実装に向けて都が支援
- オ ハッカソンを通じて出来上がったサービスについて、年度末に「Demo Day」で成果発表

(2) プログラムの流れ



※新型コロナウイルス感染症等の影響により、プログラムの内容やスケジュールに一部変更が生じる場合があります。

※会場等の詳細については、HPをご確認ください。<https://odhackathon.metro.tokyo.lg.jp/hackathon>

(3) 各プログラムの説明

ア ハッカソンプログラム

都のオープンデータを活用したデジタルサービスのプロトタイプを作成します。

イ First Stage

ハッカソン期間中に作成したプロトタイプのプレゼン大会を実施し、優秀な作品10者を選出します。

ウ Final Stage

First Stageで選出された10者の中でプレゼン大会を実施し、最優秀賞等を決定いたします。最優秀賞には、都知事杯を贈呈します。

エ サービス実装支援

First Stageで選出された10者の作品に対して、年度末までのリリースを目指し、実装支援プログラムを実施します。原則隔週実施のメンタリングや、実証実験等のビジネスマッチングの支援を行います。

オ Demo Day

本事業の成果発表として、プログラムを通して出来上がったサービスの紹介等を行います。

7. 審査基準

(1) 審査基準

First Stage及びFinal Stageにおける審査基準は以下の通りです。

- ア 東京都オープンデータカタログサイトに掲載されているオープンデータが、提案されるサービスの中で有効に活用されているか
- イ 行政課題を的確に把握したサービスであるか
- ウ サービスの技術的難度が高く、特異性が認められるサービスであるか
- エ サービス実装の実現性が高いか(サービスの事業主体が明確であること等)
- オ デザイン及びユーザーインターフェイスが優れているか

(2) 審査方法

- ア **First Stage**
上記7（1）審査基準に基づき、審査委員の採点により審査を行う。
- イ **Final Stage**
上記7（1）審査基準に基づき、審査委員の採点や視聴者人気投票により審査を行う。

8. 留意事項

参加にあたっては、以下の事項を全て承諾した上でご応募ください。

(1) 以下に該当する場合、審査対象外とさせていただきますので、ご了承ください。

ア 応募内容に不備がある場合

イ 応募者が、応募に際し虚偽の情報を記載し、そのほか運営事務局に対して虚偽の申告を行った場合

(2) 応募にあたってご提供いただく個人情報を含む応募情報は、東京都及び運営事務局にて本事業に必要な範囲にて利用・共有されます。また、応募情報を事前の承認なく、東京都及び運営事務局以外の第三者に提供することはありません。

(3) 審査経過、審査結果に関するお問い合わせには応じられません。

(4) 本事業への参加が不適切であると東京都及び運営事務局が判断した場合には、途中で辞退いただく場合がありますのでご注意ください。

(5) 都知事杯等の受賞などに関して、東京都及び運営事務局が受賞作品について一切の性能や品質の保証を行うものではありません。

(6) ハッカソンを通して完成したサービスについては、東京都が公式サービスとして公認、公開、頒布などを実施するものではありません。

(7) 作品の応募により生じる損害については、東京都及び運営事務局は一切の責任を負いません。応募作品の知的財産権は応募者に帰属します。応募にあたって、応募者が必要と判断される場合には、自身の責任で権利処理などの手続きを行うこととします。知的財産権に関して発生した問題については、主催者ならび事務局は一切の責任を負いません。

(8) 本事業では広報を目的として、プログラム・表彰式の風景等の撮影を実施いたします。なお、撮影及び映像の使用にあたっては、参加者の同意を得ることといたします。

(9) ハッカソンを通して完成したサービスについては、都のHP等で紹介させていただく場合があります。また、都による報告や広報物に掲載させていただく場合があります。

(10) 事業終了後3年間にわたり、サービスの提供状況等について都からアンケートを実施する可能性があります。

(11) 社会通念上好ましくないサービス案など、東京都が支援することが適さないと判断した場合は、参加をお断りする可能性があります。

(12) 本プログラムに参加すること及び都知事杯等を受賞することなどによる、都からの金銭的な支援はございません。

(13) 本事業のプログラムへの参加費用は無料です。(※ただし、開催場所への移動に係る交通費やオンライン参加に係る通信費等、プログラムの受講に要する費用は参加者の自己負担となります)

(14) 海外からの参加は可能ですが、上記(13)に同じく、参加に係る費用は全て自己負担になります。また、プログラムは全て日本語で実施するため、プレゼンテーション等において日本語を話す方がチーム内に1名以上いることが必要です。